

海賊対処行動派遣部隊がアデン湾に向け出航

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第48次隊）出国行事の様相 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第48次派遣海賊対処行動水上部隊の出国行事が6月3日に開催され、今回が6度目の海賊対処行動任務となる護衛艦「さみだれ」が広島県呉市から出港した。同艦は古賀直樹艦長が指揮を執り、中東地域における情報収集活動も兼務する。

「さみだれ」には、乾野直規隊長が指揮するソマリア周辺海域派遣捜査隊の海上保安官8名を含め、約200名が乗り組み、現地において、活動中の第47次部隊の護衛艦「さざなみ」と交代することとなる。

式典では自衛艦隊司令官 齊藤聡海将が、「これまでの海賊対処行動は国内外から高い評価を得ている。国際情勢は非常に流動的であるが、古賀艦長以下の諸官はチーム「さみだれ」をもって誠実に任務にあたって貰いたい。長期にわたる任務を終え、無事帰国することを祈る」と訓示を行った。

続いて、海上保安庁の彼末浩明警備救難部長が、「ホーシー派の活動で緊張感が高まっているが、海上自衛隊とともに高い能力を発揮してくれると思う。任務の完遂と無事の帰国を祈念する。」と挨拶の言葉を述べた。

当協会からは大森常務が「護衛活動ならびに情報収集活動を宜しく願います」と述べた。

古賀艦長から「これより出国します」との報告の後、全乗員が乗組むと、「さみだれ」は直ちに離岸し、当協会等関係者は出席した隊員家族らと共に、登舷礼で任務に赴く乗員を見送った。

大森常務理事は出国前に古賀艦長、乾野隊長に任務中の無事を祈る旨をお伝えした。

今回の出国行事に参加した当協会関係者は次のとおり。（順不動）

大森彰（日本船主協会常務理事）、船田洋行（船田海運㈱代表取締役社長）、渡邊卓己（栄福海運㈱代表取締役）、松村健三（㈱七福組代表取締役）、河菜春文（河菜海運㈱会長）、高見隆昌（NS ユナイテッド海運㈱執行役員）、遠藤英明（川崎汽船㈱安全品質管理グループ長）、山内章裕（㈱商船三井理事）、落岩和彦（飯野海運㈱海務部長）、増富聡司（日本郵船㈱海務グループチーム長）、渡邊真樹（正栄マリン㈱代表取締役）、渡邊勝文（正昇海運㈱代表取締役）、菅原昌彦（菅原汽船㈱船員グループ）

なお、国際船員労務協会からの参加者は次のとおり。今田俊介（理事）、森岡融（事務局次長）

出国行事



挨拶した大森常務理事



訓示を行った齊藤自衛艦隊司令官



挨拶する彼末警備救難部長



「さみだれ」と出席者



古賀艦長と大森常務理事



乾野隊長と大森常務理事



6度目の派遣となる「さみだれ」



呉から出港する「さみだれ」



「さみだれ」を見送る関係者一同